



“ 農地・水・環境保全 ” 水土里のネットワーク通信

第147号

2023. 9. 1発行

島根県農地・水・環境保全協議会

令和5年度島根県日本型直接支払検討委員会 (現地検討会)開催

島根県農林水産部農山漁村振興

多面的機能支払交付金（以下「多面交付金」）及び中山間地域等直接支払交付金（以下「中山間直払」）、環境保全型農業直接支払交付金（以下「環境直払」）の3つの交付金からなる日本型直接支払交付金の第三者委員会を8月8日に大田市の野城農業集落多目的集会所において開催しました。

本委員会は、交付金の適正な運用及び推進を図るため、各分野の専門家6名を委員とし、意見を頂く事で今後の推進活動へ役立てるための委員会です。

今回は5名の委員の出席のもと、あまや農地水を守る会（多面交付金）、野城集落協定（中山間直払）、農事組合法人百姓天国（環境直払）の皆様にご協力いただき現地視察及び意見交換会を行いました。

主な内容は以下のとおりです。

〇地域の活動について

- ・多面交付金において、農地維持・資源向上（共同）により草刈や、水路の泥上げ、農道管理、環境保全活動を実施。
- ・中山間直払において、生産性向上加算による農業機械の購入など地域農業を支える活動を実施。
- ・環境直払において、カバークロップ(れんげ農法等)※と有機農業の取組を実施。
- ・法人の経営理念として「笑顔で元気、帰ってきたいふるさと創生」を掲げ、女性の意見を取り入れた活動（加工品）や、若者が参加したくなる活動（スマート農業やドローンを使ったれんげ播種作業など）など、幅広い年齢層で活動を行っている。

野城地域では、若者が積極的に活動に参加したくなるような方法を考えたり、女性の意見を取り入れることでより活動を発展させていることがわかりました。

〇委員からのコメント

- 3つの交付金を上手に活用しており、非常に素晴らしい。
- 若者の意識が変わり始めており、UIターンで帰ってきやすい地域づくりが必要。
- 地域の皆さんがいきいきと楽しくやっている場所には人が集まってくる。

今回の現地検討会でいただいたご意見を今後の交付金の推進に役立ててまいります。

ご協力いただきました各組織の皆様、ありがとうございました。

※カバークロップとは土壌浸食を防ぎ土壌中に有機物を加えて土壌改良に役立つ作物の総称



「田んぼダム」の取り組み

川成・横引地区環境保全協議会(出雲市)

「田んぼダム」とは、排水口に切り欠きのついた堰板を設置するなどして、田んぼに降った雨をそのまま排水させるのではなく、一時的に田んぼに溜めることにより、小さなダムの効果を発揮させるものです。

当組織は、出雲平野の西側の平坦な農地が広がる区域にあり、近くには出雲農林高等学校があり、隣接して学校の実習田があります。

取材時(令和5年6月1日)には、田んぼ約24haの内、65%程度で田んぼダムに取り組んでいるとのことでした。



<写真：8月末>

早く乾かしたいときは、切り欠きのついた堰板を通常の逆さまに設置(通常は、堰板の切り欠きがVの字になるよう設置)。

……堰板は床材に使う15~16mmのもの

通常のVの字に設置した場合は、降雨後の排水がゆっくりとなり、これまで2日間で排水されていたものが、1週間かかるようなイメージとのことでした。

田んぼダムの取り組みにより水管理の労力が増えるのでは?と勝手に思い込んでいましたが、『取り組みにより、水管理の労力は減った(従来は分割された高さの低い数枚の板をつけたり、はずしたり)。』との感想が返ってきました。

一時的に雨水を溜める効果は、排水される水路の大きさ、勾配、下流の河川の改修の有無などにも影響されますが、周辺地域がまとまって取り組むことにより、何倍もの大きな効果が発現されるものとなります。

なお、注意すべき点としては、次のような意見がありました。

○草刈り後には水面に草が浮いた状態になっていることから、堰板に草が詰まりやすい。

→田んぼの水位上昇による畦畔越流や決壊のおそれがある。

○従来よりも水深が深くなるため、畦畔の強度が弱くなっていないかに注意を払う必要がある。→特に、除草剤は畦畔を弱くするので、お勧めしない。

なお、「形状の劣化、沈下、破損等が見られる畦畔の幅や高さの原状回復等」は、田んぼダムの取り組みの有無に関わらず、資源向上活動(共同)における **30**農用地の軽微な補修として実施可能です。

※田んぼダムについては、ネットワーク通信第133号、136号、140号、142号でもご紹介しています。

活動組織の皆さんへ

■領収書が発行されない支出について

今年度から、自動販売機での飲み物の購入など領収書が発行されない支出については、本交付金からの支出は出来ませんので、ご注意ください。



■費目別、支出内容について

島根県では、事務機器（パソコン、プリンター、デジカメなど）の購入を「その他の支出」としていましたが、今年度から「購入・リース費」に変更します。

草刈機のデモンストレーションの開催

9月22日締切

中山間地域等における草刈り労力軽減のための草刈機のデモンストレーションを下記のとおり開催されます。

○日時 10月6日(金)9時30分～

○場所 揖屋干拓土地改良区周辺（松江市東出雲町錦浜 473-1）

○デモンストレーションする草刈機

ラジコン草刈機 「神刈」、「スパイダーモア」（新機種）

○定員 50名程度



ラジコン草刈機
スパイダーモア

コンクリートキャンバスのご紹介

同封のチラシをご覧ください

コンクリートキャンバスは水をかけると固まるシートで、簡単に施工できます。

水路の補修資材として、また鳥獣害防止柵の下への敷設にいかがでしょうか。



幟等の注文

注文書を同封しています。

活動中の現場や花壇、花畑等の脇に「幟(桃太郎旗)」を立てて、地域の皆さんに活動をPRしてはいかがでしょうか。2通りの標語を用意しています。(注文は直接組織から行ってください。)



活動組織の皆さんへ

多面的機能支払制度では、年度内の活動や交付金の使途を市町村へ報告するため、実施状況報告書、活動記録、金銭出納簿等の書類の作成が必要です。

書類を作成する方法として

■国の Excel 様式を使う

■島根県独自で開発した「事務支援システム助さん」を使う（令和4年度約342組織が使用）

■水土里ネット島根に事務を委託する（令和4年度約100組織が委託）

3つの方法があります。

組織の実情に応じた方法で、書類の作成をお願いします。

国の Excel 様式は、協議会ホームページからダウンロードできます。「助さん」、「事務委託」については、協議会事務局 深田までお問い合わせください。（TEL0852-32-4141）



★9月、10月の予定★

10月6日(金)	草刈機デモンストレーション(松江市揖屋干拓土地改良区周辺)
10月31日(火) ～11月2日(木)	中国四国農政局抽出検査(出雲市・海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町の抽出組織)

ちよっと息
おたよりコーナー

猪防護柵の補修・設置

環境保全がんばり隊(松江市)

私たちの地域では、猪の被害は増える一方で、あちこちで被害があったお話を聞いています。何しろ親一匹に7匹の子供を連れて歩いていくところを見た方もいらっしゃるようで、少々捕獲しても増える一方です。

毎年、猪防護柵の補修や設置を行っていますが、限られた予算の中で以前300枚用意できていた柵も、200枚しか用意できなくなり鉄の値上がりを実感しています。



～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会

〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

◆島根県農林水産部農山漁村振興課 Tel 0852-22-5396

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



地頭所環境保全活動組織
(美郷町)



全国の活動組織の事例はこちらから

多面事例

検索



「農村ふるさと通信」はこちらから

農村ふるさと

検索

